こびとのおうちえんLetter 8月号

令和4(2022)年8月2日発行　第136号

海。(あかり)とももちゃんが作ったイカダは、大成功。毎回、よく泳ぎよくあそびみんなが海をたのしんでいる。
カヤック、とびこみ、もぐる、砂をほってあそぶ。たくさんの生物にも出会ってワクワクや感動がいっぱい。
こどもたちの変化は、できることがふえていくのはもちろんだけど、心が開いてゆくことへ運ばれてる。
魚(ボラ)の大きいのがすぐ近くでおよいでいる。それを(びーばー)(かいと)(ひろのぶ)(みらい)たちと海の中を見ながらおいかける。たのし〜!! (あかり)のイカダは、気づけば、ほぼみんな乗った。私もこぎたい!

7月はこんなことしました

- 川プール
- リレー
- シーグラスと流木の作品づくり
- 室積でおよぐ
- 七夕のかざりつけ
- セミのぬけがらさがし
- 小麦粉粘土
- けいどろ
- 虫とり(クワガタ、セミ、カミキリムシ、トンボ、アゲハ)
- モクズガニとり
- スッポンをとる!
- 年長さん夏キャンプ
- スッポンをさばくのをみる
- マラソン
- 竹のおわん・はし作り
- 小豆のたねまき
- 白玉だんごづくり
- とうもろこしとり
- イカダ作り
- 阿波番茶づくり

etc...

よっこのちょこっとおうちえん日誌 ―日々のあれこれ―

室積。(たろう)(ふう)とカヤックにのった。ミズクラゲがいてさわる。
カヤックからおりたら、どこでみつけたのか、発泡スチロールをふねに見立てて、2人でまたがってのって海を歩いている。しかも、板のオールもあって(たろう)がこいであるいている。
すごに形を再現。いいね〜(7/6)

下の集落のMさんに大きなスイカをもらった。13.9kg!とてもおいしかった。
お礼のおてがみを(みらい)(ゆずき)(たろう)がかいた。それをお届けしに、今日行った。(ゆずき)(かほ)(たろう)が「行く!」って。(かほ)が元気。(たろう)は、ごきげんでうたいよく笑う。
Mさんちについた。お届けできた。
Mさんに「おさんぽして何がたのしい?」と聞かれた(ゆずき)は、「あるくのがたのしい」(7/15)

スッポンのしかけ(ロープに、はり金の針をつけて4つの針にミミズ、カニ、カエルをつける)を昨日かけていたのを、(ひろのぶ)(ぎんつき)(びーばー)(しょうま)(かいと)あっきーが見にいった。スッポンはかかってなかったけど、エサになる魚をもっていきつけ直しまたしかける。
お穂で何かつくってあそんだり、葉っぱのレースをしたりする。ぬれるのをみんなさけていたみたいだけど、川の砂の上を歩いてたら、ぬれてきて、最終的には、ワニになって上流にすすんで、全身びしょぬれになって帰ってきた。みんな、わんぱくな顔をしてキラキラ。そして、昼からは、川プールに入るんだといって、ぬれた服をぬいで上半身ハダカになり、パンツ1枚になって外で、机とイスを出しておひるごはんをたべてた。いいぞ!
そして川プールでさらにはっちゃけてあそんでた。
(ぎんつき)川プールデビュー。(7/15)

(うた)はおままごとがしたかったけど午前中はスタッフがおにわに残れないから、おひるからなら大丈夫だけど、午前中はむずかしいと伝えたら(うた)は困って号泣した。やりたいことがやれなくてかなしいきもちもあったろう。しばらくだっこしていた。少しおちついたところで、(うた)のやりたいことが場所をかえてもできるように案を出したりした。そしたら(うた)は、おだんごづくりをするといって作りはじめた。おだんごの上にクリームをのせている。それをたくさんたくさん作って板の上に並べる。なかよくしてた(かのん)(かほ)がやりたくなって加わる。川プールしてる子たちが買いにきたり、たくさん並んでるのを見にきたりする。(うた)もたのしそうだ。(うた)が泣けてよかった。
おひるごはんのコロッケがケチャップかけてあって(うた)のおだんごにそっくりだった。(7/14)

＿＿＿＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

＝キッチンスタッフより＝

日常のいろいろな場面で子ども達の成長は感じられる。例えば食べ物のこと。
うちの家庭の場合、カレーを甘口じゃ物足りないと言い出したり、キムチ鍋が冬のメニューに入るようになったり、お寿司にワサビを使うようになったり。
あとはおでん。幼いときは、子ども達の好きな具は、ちくわ、こんにゃく、玉子など。おでんは美味しいけど、野菜が不足するのかなと思うので、大根を食べるようにすすめると、小さい一切れをなんとか食べる程度だった。しかし、長男(現在23歳)が高校2年ぐらいのときだったろうか。おでんを食べていて「やっぱりおでんといえば大根が最高よね」と言い出した。妹弟達は、そんな長男をおじさん呼ばわりしていた。しかし今、次男も高校3年生になると、好きなおでんの具は大根になった。部活でいつも帰りが遅いので、ひとりで晩ごはんを食べるのだが「もっと大根ないん?」と聞いてくることもある。
先日も冷たいおそばを家で食べるとき、天ぷらを一緒に出した。いつもならエビやイカ、野菜でもカボチャやさつまいもなどが取り合いになるのに、その日はカボチャもさつまいもなかったので、季節のナスを天ぷらにしてみた。すると「ヤバッ、ナスうまっ」という反応がきた。(語いが少ないので、「なんでもヤバッ」で済ます中高生をお許しください…)
今まではナスというと敬遠されがちだったのに、やっぱり食の好みって変わるというか広がるんだなと思った。
今、自分の子どもが食が細い、好き嫌いが多いと悩んでいるお父さんお母さんがいるかもしれませんが、それも少しずつ成長していきます。でも、嫌いだからといって全然食べさせないと、大人になっても習慣としてそれを避け、美味しさを知らずに過ごしてしまうということになるような気がします。どんなものでも子どもの頃から少しずつ味わっていれば、本人も周りの大人も、自分の中での味わいの変化に気づいて、その成長ぶりに感動する日がくるかもしれません。
あと、これは随分前にもおうちえんレターに書いたのですが、長男がまだ小学生だった頃、給食の先生に聞いた話で、「食べ物に対する興味は、物事に対する興味の一環である」そうです。つまり、食べ物の好き嫌いが多い子どもは、物事に対しても、好奇心が少なく、新しいことにチャレンジすることが苦手、というデータがあるということです。
子どもの食べ物の好みというのは、周りの大人の影響を大きく受けますよね。なので、私も、おうちえんやてらこやのお昼ごはんが、子どもたちの身体を作ることはもちろんですが、なんだろうこれは?家では食べたことないけどちょっと食べてみよう、家とは違う味付けだけどこれもいいな、というように思ってもらえるものを、なるべく作って、子どもたちの心の部分の成長も後押しして、親の皆さんのお手伝いをしたいなと思っています。
また、〇〇さんの畑で取れたトマト、〇〇のおじいちゃんがくれたきゅうり、とお知らせしてから食べると、子ども達の気持ちや食べる姿勢もぐっと変わってくるのを感じます。
いつもお野菜など提供してくれる皆様、ありがとうございます。

大下里香

8月のペアレンツグループ

26日(金) 13:00〜15:00
場所　**てらこや**
内容　フィーリンググループ
今の自分の気もちにていねいに触れる時間。メンバーの気もちをきいて気づくことも多い時間です。ご一緒しましょう。
※参加の方は事前におしらせ下さいね。当日でもOKです。

8月のスタッフプラン

・しそジュース作り

23日(火) おべんとうの日
錦川でラフティング(年長・中)
※年少さんは、おうちえんですごします。おべんとうの準備をお願いします。
ラフティングの代金、時間等は後日メールにてお知らせしますね。

おたんじょうび おめでとう!!
10日　はらかいとくん(5さい)

おしらせ 夏休みは8/11〜18です。体調をくずさずに元気にすごして下さいね!